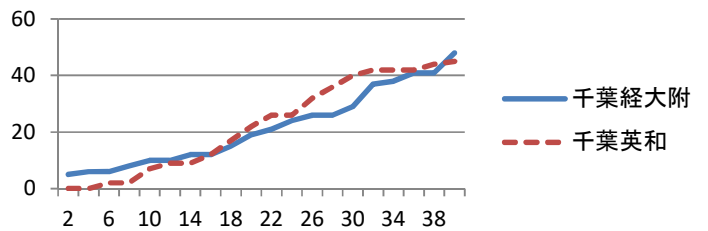
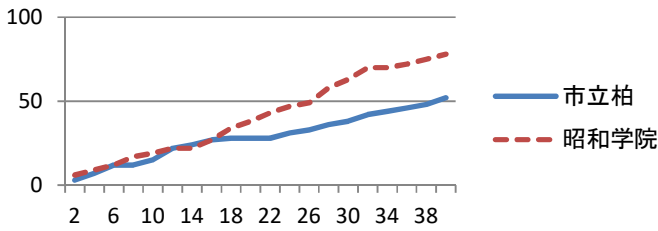


ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その2

2018/6/24

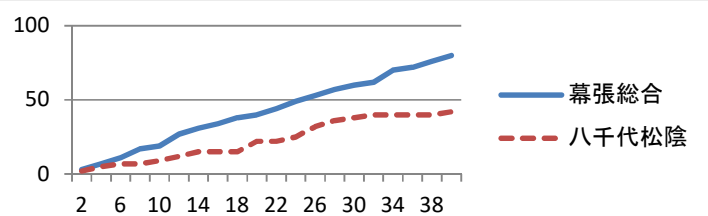
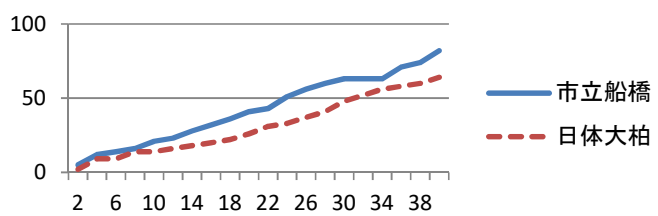
Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total		
A1	242	女	市立柏	◎	15	13	10	14		52	B1	282	女	千葉経大附	◎	10	9	10	19		48
	201		昭和学院	◎	19	19	25	15		78		241		千葉英和	◎	7	15	18	5		45



両チームともディフェンスはマンツーマン、オフェンスは互いに崩して合わせてシュートのパターンで進み前半は一進一退の攻防が続く。前半終了近くに昭和学院の強いディフェンスで流れに乗れない市立柏に対し、昭和は#8の3Pで流れに乗り10点差昭和リードで折り返す。3Q市立柏はゾーンディフェンスに切り替えたが、昭和の3Pが連続で決まり残り3分で22点まで差が広がる。4Qは昭和の積極的なドライブで加点。最終的には26点の大差をつけて昭和学院が勝利した。

千葉経済マンツーマン、千葉英和ゾーンディフェンスでスタート。先制したのは千葉経済、千葉英和は4分間無得点。たまたま千葉英和タイムアウト。落ち着きを取り戻した千葉英和は徐々にリズムを掴み得点を伸ばす。千葉経済はゾーンディフェンスに苦戦しながらも地道に得点を重ねるが、千葉英和はメンバー交代しながら多彩に得点しだすと2Q終盤に逆転に成功。3Q、千葉経済もゾーンディフェンスに対応するが、千葉英和もディフェンスからの速攻が決まり千葉英和リードで進む。4Qに入り千葉経済がオールコートディフェンスでプレッシャーをかけ速攻のパターンで巻き返しを図ると流れが変わった。千葉経済は中盤一気に接戦にまで持ち込むと終盤ついに千葉英和をとらえ逆転。更にフリースローで4点差とする。勝負あり。千葉英和もフリースローで3点差とするが、試合終了。千葉経済の逆転勝利となった。

Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total		
A2	142	男	市立船橋	◎	21	20	22	19		82	B2	141	男	幕張総合	◎	9	13	16	4		42
	101		日体大柏	◎	14	12	22	16		64		182		八千代松陰	◎	19	21	20	20		80

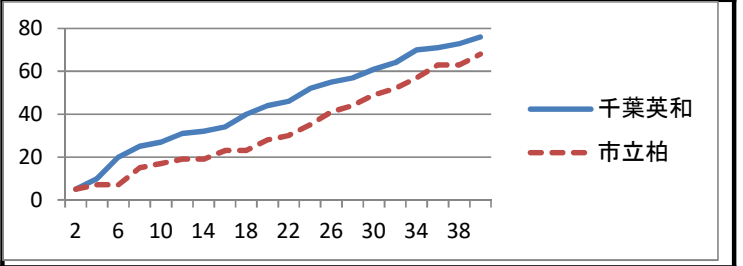
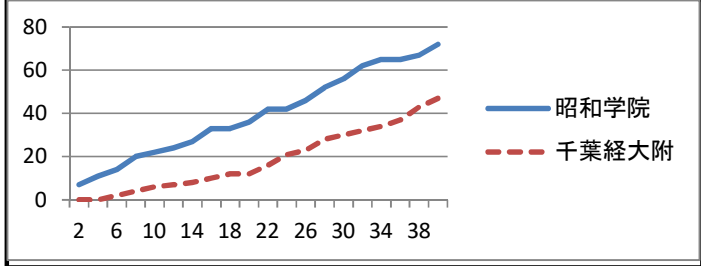


立ち上がり両チームとも、マンツーマンディフェンスでスタート。日体大柏のインサイドをどう守るかが注目されたが、ゾーンディフェンスを使う場面は見られなかった。市立船橋は#10と#15に対しての守りを徹底し全体的にゲームを有利に進めていた。一方、日体大柏は#4を中心とする市船のドライブインに苦戦するも3Q、4Qでは対応し止める場面が多く見られた。しかし、1Qから4Qまで市船の3Pを阻止することができず、特に#7、#8の合わせて10本沈めた。日体大柏も巻き返しを図るが最後まで市船がリードを守り貴重な1勝をあげた。

八千代松陰のキーマンとなったのは#7。#7の3Pとジャンプシュート、アシストはチームに良い流れをもたらした。幕張総合は八千代松陰のファインプレーに押され、なかなか点が伸びずにいた。メンバーを交代しながらの展開になると、うまくボールが中に入りはじめ少しずつ点を縮めていった。八千代松陰のDFは、ハーフコートマンツーマンだったものの、中を固めダブルチームをしかけ、リバウンドも手堅くゴール下を支配した。幕張総合は八千代松陰と同じく、ハーフコートマンツーマンだったが、中を守ることができなかった。前半では10点差ほどだったが、後半になるとダブルスコア目前の点差となり防戦一方、八千代松陰の勝利となった。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A3	201	女 昭和学院 ◎	22	14	22	14		72
	282	女 千葉経大附 ◎	6	6	18	17		47

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B3	241	女 千葉英和 ◎	27	17	17	15		76
	242	女 市立柏 ◎	17	11	21	19		68

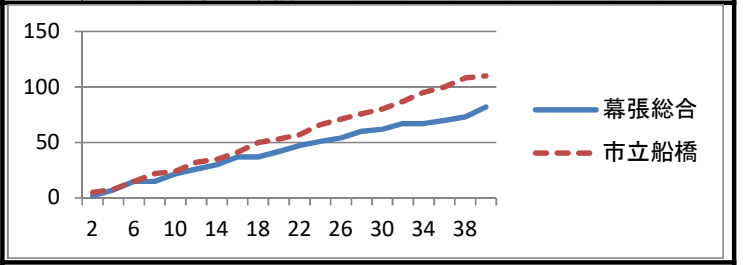
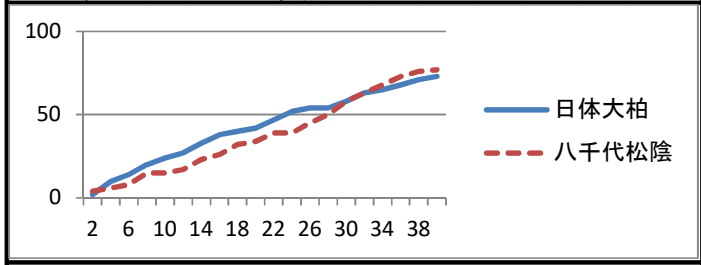


立ち上がりから先制してペースを掴んだのは昭和学院。昭和学院はジャンプシュート等が正確に決まり順調に加点していくが、千葉経済は流れをつかみきれない。両チームともファールが重なりメンバー交代を余儀なくされながら試合は進む。第2Q、経済は持ち前のスピードを生かし速攻やドライブで崩しにかかるが、昭和のディフェンスは速いローテーションで対応され、なかなか点に結びつかない。後半、経済はドライブからのストップジャンプシュートで効果的に攻め始め終盤ようやく決まり始めた。良い流れを続けたい千葉経済だが、第4Qに入りパスミスが目立ち昭和の速攻を許してしまう。最後意地を見せたい千葉経済はディフェンスを頑張り走るが、大差をつけた昭和学院が勝利。インターハイ出場を決めたチーム同士の最終戦を全勝で飾った。

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。先制は市立柏 # 8 のシュート。しかし、第1Q、# 9 の 3P で流れをつかんだのは千葉英和。第2Qに入っても流れが変わらず、ファールがかさむ市立柏に対し着々と加点する千葉英和と点差は開き続け、前半16点差まで広がった。第3Qは点の取り合いで試合は進んだが、中盤過ぎから千葉英和のファールが多くなり市立柏のFTによる加点で差が縮まった。第4Q、巻き返しを図りたい市立柏はオールコートディフェンスを仕掛け詰め寄るが一步及ばず、8点差で試合終了。千葉英和が1勝をあげた。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A4	101	男 日体大柏 ◎	24	18	16	15		73
	182	男 八千代松陰 ◎	15	19	24	19		77

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B4	141	男 幕張総合 ◎	22	20	20	20		82
	142	男 市立船橋 ◎	24	29	27	30		110



立ち上がり、八千代松陰は日体大柏のセンターを守りに行くが、しっかりつないで点に結びつける日体大柏が流れを掴み第1Qを24-15とリードで終わる。第2Qに入り日体大柏にミスが目立ち始めるが、八千代松陰も決めきれず流れは変わらず前半終了。後半、日体大柏はドライブからの合わせなど効果的に攻める場面も見られたが、八千代松陰はインサイドのディフェンスをさらに徹底し日体大柏のオフェンスに徐々に対応し始める。終盤、チャンスをつかむと一気に流れを掴みついに同点で3Q終了。第4Qに入り互いに守り合いの状況から抜け出したのは松陰、# 6 の 3P で逆転すると僅かな差ながら八千代松陰が精神的に優位に試合を進め落ち着いた試合運びでリードを守り切り勝利。優勝でインターハイ出場を果たした。

立ち上がり、幕張総合が # 5 を中心に加点しリードする。対する市立船橋も3Pをテンポよく決め互いに譲らずで1Q終了。第2Qに入り幕張総合が市立船橋の速攻に遅れ始め徐々に市立船橋ペースになり10点差で前半終了。後半、幕張総合はゾーンディフェンスで流れを変えに行く。互いに3Pを決めていたが、終盤リバウンドからゴール下の得点で幕張に流れが行きそのまま3Qを終了。第4Qでの巻き返しを図る。第4Qに入ると市立船橋もゴール下、リバウンドを頑張り流れを取り戻すと一気に加速。幕張総合も # 5 の 3P など食い下がるが、追撃を突き放し市立船橋が110-82で勝利。第2位でインターハイ出場を決めた。